

科 目 名	英語 b	備 考
	英語	
単 位 数	1 単位	

大須賀 寿子 / 栗原 優 / 高橋 豊美 / 立花 桂 / 塚本 美恵子

TOEFL の問題を解きながら、英語についての理解を深めよう

1. 講義目標・講義内容等

TOEFL のような英語資格試験に取り組むためには、語彙、表現、文法、発音、文章の構成など学ぶべきことがたくさんあります。しかし、すべてをただ覚えようとするだけでは、なかなか英語の力を伸ばすことはできません。大切なのは、今の自分が学ぶべき知識は何かを正確に把握することです。英語 b と英語 b では、TOEFL の問題解法テクニックを習得しながら、英語によるコミュニケーションでは話し手（書き手）と聞き手（読み手）が共有する「ことばのしくみ」の知識について理解を深めます。そして、それぞれの学生が、多岐にわたる学習項目の中で自分が必要とすることが何かを考えて、主体的に学んでいけるようになることを目標とします。

英語 b では、TOEFL の Section 2 の問題を使って、基本的な項目から説明します。その中には高校までに学習した項目も含まれていますが、この授業では、いわゆる「学校文法」とは異なる視点に立って、なぜそのような項目を学ぶ必要があるのか、それが他の項目とどのようにつながって英語の体系が成り立っているのかを考えます。そして、この授業で習得した知識が実際のコミュニケーションにおいてどのように役立つのか、その知識を使ってどのように TOEFL の問題の解答が導き出せるのかを解説します。

2. 関連科目

英語 b、英語演習 G、海外語学研修（英語）

3. テキスト・参考書等

『TOEFL Test Preparation Kit (2nd Edition)』 Educational Testing Service

【参】英和辞典（必ず中辞典サイズのものを用意してください。電子辞書は試験で使用できないので、印刷版を普段から使うようにしてください。辞書の選び方・使い方のヒントを授業で示します。）

【参】英文法に関する参考書

4. 成績評価方法

試験の成績（80 点）と出席の状況（20 点）で評価します。試験の成績は、学期末試験と小テストの総得点を 80 点を満点として換算します。また、TOEFL-ITP のスコアが一定の基準を超えている場合は、上限 20 点を加点します。（基準に届かない場合の減点はありせん。）出席の状況は、持ち点を 20 点として、正当な理由のない欠席があった場合に 10 点ずつ減点します。遅刻したり、授業に必要な教材を忘れて、私語・「内職」・居眠りなどで注意を受けたりするなど、授業への積極的な取り組みが欠ける場合には 5 点ずつ減点します。欠席が 3 回を超えたり、授業態度が不良な場合は、減点により単位の取得が難しくなるので注意してください。

5. その他

英語 a と英語 b の授業では、「解答が正しいか誤っているか」という結果ではなく、「解答をどのように導き出したのか」という過程を重視する姿勢を持つことが、効果的な学習につながります。また、授業内容が連続しているので、毎週の授業をしっかりと理解しておかないと翌週、翌々週の授業がわからなくなってしまいます。授業で説明された考え方を十分に復習して、知識の定着を図るように心がけてください。

授業計画			
第 1 回	ガイダンス	第 9 回	準動詞または接続詞による名詞句
第 2 回	英語の学習方法を考える / 辞書の使い方	第 10 回	名詞句・節がわかれば英語はこんなに読める
第 3 回	品詞による分類が必要なのはなぜか	第 11 回	名詞語の種類：数えられない名詞、複合名詞
第 4 回	機能語：最初に覚えてしまう品詞	第 12 回	修飾語句の位置：日本語と英語の比較
第 5 回	TOEFL-ITP	第 13 回	総括（予備日）
第 6 回	五文型が示す情報：意味と形式のパターン	第 14 回	学期末試験
第 7 回	名詞語・名詞句・名詞節の違いを観察する	第 15 回	学期末試験の解説 / 英語 へ向けて
第 8 回	名詞句の一般形式		